

Good Governance Voice 2022

一般財団法人 非営利組織評価センター

一般財団法人 非営利組織評価センター

Good Governance Voiceとは

「信頼ある非営利組織」として非営利組織評価センターのグッドガバナンス認証を取得した団体をご紹介します。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、応援したい団体を見つけることができるガイドブックです。

※2022年2月時点のグッドガバナンス認証団体を掲載しています。最新の認証団体の一覧は非営利組織評価センターのウェブサイトをご覧ください。

グッドガバナンス認証とは

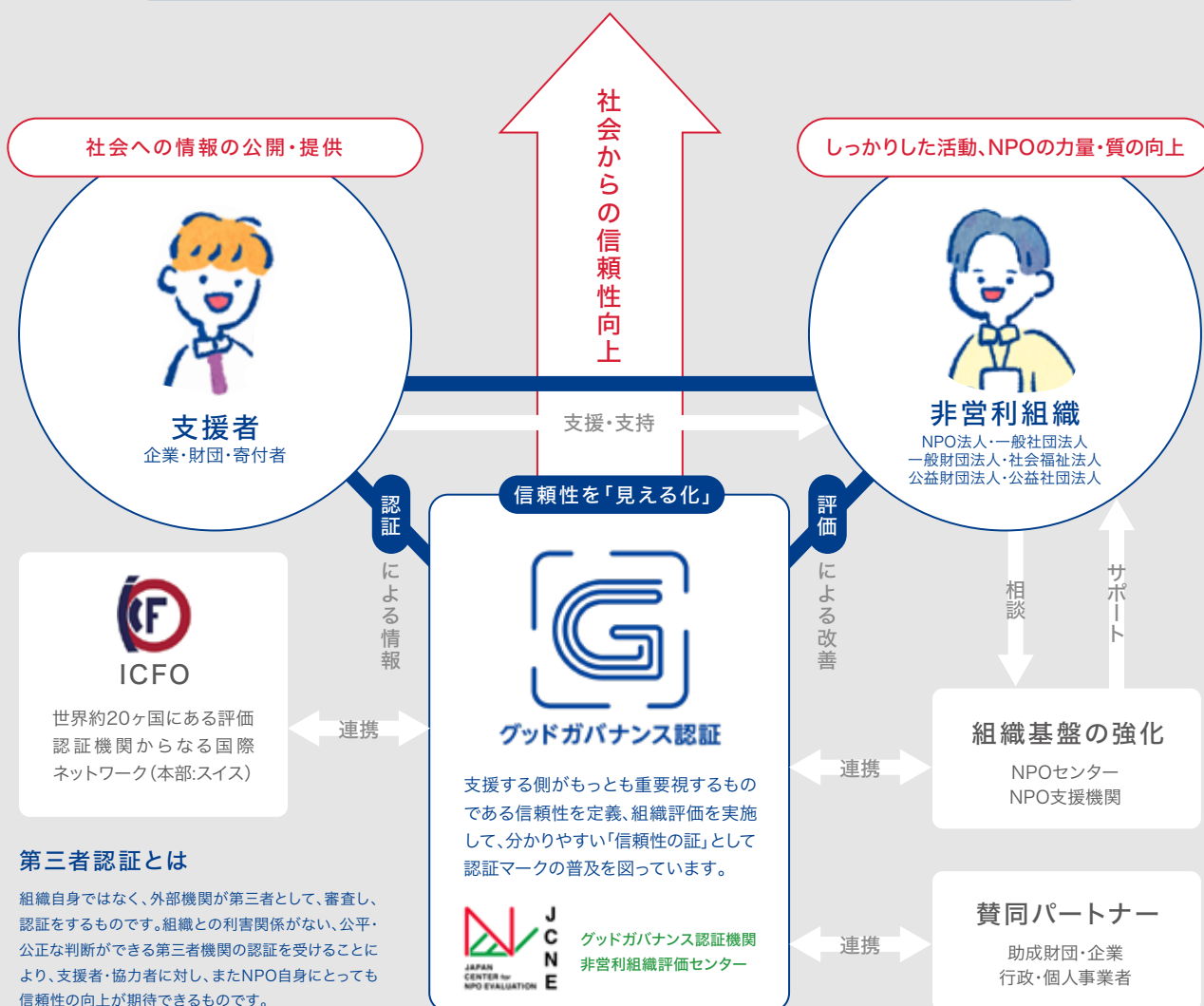
NPOが信頼性を高め、幅広い支援を継続的に獲得できる社会へ



グッドガバナンス認証

信頼性とは漠然としたものです。けれども、支援する側が最も重要視するものであり、信頼性を定義し、説明できる形が求められています。わたしたち非営利組織評価センターはNPOの組織評価を実施し、支援者とNPOの架け橋として分かりやすい信頼性の証「認証マーク」の普及を図っています。信頼性を見える化することで、NPOが幅広い支援を継続的に獲得できるよう手助けをする仕組みです。

非営利組織の信頼性向上につながるグッドガバナンス認証制度のしくみと活用



非営利組織評価センター(JCNE)は、非営利組織の組織評価を行う日本で初めての第三者審査機関です。

信頼の要素

グッドガバナンス認証、それは非営利組織の「信頼性」を意味します。「学びと創造」「市民参加と連携・協働」「社会的責任と信頼」「自立と自律」の4領域27基準について、書面評価と訪問評価を行います。27基準をすべて満たし、認証審査委員会の審査を経てグッドガバナンス認証が取得できます。27基準には財務が健全である、労務管理は法律に準拠している、不正を防止する仕組みがあるなどの視点が含まれています。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



中長期的な
計画に基づき
運営を行っている

財務が健全である

寄付金の使途を
報告している

労務管理は
法律に準拠している

不正を防止する
仕組みがある

※寄付募集・雇用を行っていない団体は、一部の基準を除外して評価・認証をしています。

数字でわかる認証制度（2022年2月時点）

23 都道府県

認証団体の所在地

50 団体

グッドガバナンス認証団体数

39 %

認証付与に至る団体の割合
(認証団体数÷申込み団体数)

100 件以上

認証後に寄せられた物品寄付の件数

519 億円(※)

認証を受けたことをアピールできる
助成プログラムの助成金額合計

※助成選考過程・助成決定後において評価・認証制度を採用している助成プログラムの2020年度（あるいは直近年度）
助成実績を助成財団の事業報告書等から引用し作成しています。 <https://jcne.or.jp/2021/10/01/news-44/>

医療や福祉の支援を行っている団体



認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・東京
寄付に託された想いを実現、「知的障害のある人たちにスポーツを」

一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会
多死時代に人生の最期とも穏やかに向き合う、人材養成を全国で

認定NPO法人 静岡市障害者協会
「たとえ災害時でも」誰一人取り残さない障がい者支援

NPO法人 りんりん
「困った」声に応じるこまかい手助け、愛知で福祉事業

社会福祉法人 倣裏会
同志社創立者の新島襄の想いを現代に繋げる地域貢献

社会福祉法人 京都基督教福祉会
キリスト教福祉の実践者として、11の施設で社会福祉に貢献

認定NPO法人 プール・ボランティア
障害者も高齢者も楽しく泳げる——水の中のボランティア

NPO法人 市民後見ひょうご
人権と財産を守る「成年後見制度」を兵庫から発信

社会福祉法人 対馬市社会福祉協議会
地域密着型の福祉、誰もが安心して幸せに暮らせる対馬づくり

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい
生活困窮者支援 生活や住まいの相談、現場からの情報発信や政策提言

認定NPO法人 ほっとすぺーす・つき
つながる優しさ × みんなの居場所=ほっとすぺーす・つき

認定NPO法人 マドレボニータ
産前・産後のケアで、健やかな体と心を「エンパワー」

NPO法人 地域福祉サポートちた
福祉をつなぐNPOの輪、マネジメントで支える

NPO法人 HA-HA-HA
障がい児の発達から就労まで、三重県で長期的な支援続ける

社会福祉法人 松花苑
活動歴60年、障がいのある人にも「あたり前の生活」を

社会福祉法人 みねやま福祉会
人権尊重の福祉サービス、理念は戦後・京都の乳児院から

認定NPO法人 さわやか千の里
兵庫・川西市で「困った時はお互いさま」の精神で高齢化社会を支えあう

認定NPO法人 日本IDDMネットワーク
不治の病「1型糖尿病の根絶」を目指す

認定NPO法人 ホームホスピス宮崎
終のすみか「かあさんの家」で支えるいつもの暮らし



環境保全やまちづくりを行っている団体

NPO法人 エヌピーオー・フュージョン長池
公園を利活用した地域住民の自己実現や協働の場づくり

認定NPO法人 自然再生センター
島根の「ふるさとの水辺」専門家と市民がともに創る

認定NPO法人 えどがわエコセンター
区民に開かれた環境問題の学び、持続可能な地域社会を目指して

認定NPO法人 アクト川崎
地球温暖化対策・脱炭素推進、川崎市民に分かりやすく伝える

特例認定NPO法人 三段峡-太田川流域研究会
「三段峡憲章」を守り大自然の名勝を伝える



国際的な協力や交流を行っている団体

認定NPO法人 市川市ユネスコ協会
「心の中の平和」、次世代へ繋げる地域活動

認定NPO法人 アジアキリスト教教育基金
バングラデシュの子どもたちに教育支援を続けて30年

認定NPO法人 地球市民の会
佐賀からアジアを考える、「地域密着型」の地域づくり



p.21 ~

子どもの支援や社会教育などを行っている団体

認定NPO法人 子どもと文化のひろば ふれいおん・とかち
「あそぶ」「つながる」「育ち合う」0才からの多世代の居場所

NPO法人 やっぺす

石巻の「お母さん」たちが子育て支援、震災以来10年続く

NPO法人 食育研究会Mogu Mogu

埼玉県で地産地消、畑から育てて食べる食育体験

認定NPO法人 カタリバ

すべての10代が意欲と創造性を育める社会をつくる

認定NPO法人 キーパーソン21

子どもの「わくわくエンジン」を引き出すプログラム、全国へ

認定NPO法人 ポケットサポート

長期入院や自宅療養などで生じた、教育や体験の空白を埋める支援

認定NPO法人 こどもステーション山口

山口県の子どもの舞台芸術を届ける「こころ」の支援

認定NPO法人 とす市民活動ネットワーク

佐賀・鳥栖市で「木育活動・森林保全」と市民活動団体の支援

認定NPO法人 こども∞感ぱにー

子どもが主体的になれる場所、宮城で「遊び場」と「居場所」づくり

NPO法人 寺子屋方丈舎

会津若松市で子どもと大人が学びあうフリースクール。「できる」を大事に経営

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

こども食堂の支援を通して誰もとりこぼされない社会を目指す

認定NPO法人 育て上げネット

地域のネットワークで「社会経験の穴」を埋める場所づくり

NPO法人 こども未来ネットワーク

心はずむアート体験 鳥取県で0歳から文化に触れる

認定NPO法人 子どもシェルターモモ

弁護士と協働で子どもの安心・安全を守る

認定NPO法人 わははネット

香川から全国へ、「子育てをもっと楽しく、親子の声を社会に伝える」



p.29 ~

人と動物の共生支援を行っている団体

認定NPO法人 人と動物の共生センター

人と動物との共生目指す中で、他者を思いやれる社会に



p.30 ~

NPO支援を行っている団体

認定NPO法人 消費者スマイル基金

「公正な市場」にかかる想い、消費者団体の活動を支える

NPO法人 アートコラールきくがわ

静岡県菊川でアート支援、まちのつながりを創出

NPO法人 ひろしまNPOセンター

災害や社会課題解決へ、中国地方の NPO ネットワーク活かす

認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会

日本の寄付・社会的投資市場の形成をリード、ファンドレイジングを牽引

NPO法人 きょうとNPOセンター

市民活動を支える人々を支える、京都の頼れる仕組み

公益財団法人 佐賀未来創造基金

人とお金を社会の必要なところへ循環、佐賀の未来に繋げる



東京都新宿区

<https://www.npomoyai.or.jp/>

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい



Voice 相談者

病気で仕事ができなくなり正社員を解雇され、アルバイトを掛け持ちして生活する日々精神的にも肉体的にもボロボロになり、どうにか身体に負担のないようにできないかと調べていたところ、生活保護の文字が目に入りました。1人で相談に行くと水際作戦で追い返されるなど、調べるほどに不安が増してきました。そんな時に〈もやい〉を見つけ相談に行ったところ、みなさん優しくて本気で心配してくれました。生活保護になってからは色々安定しました。部屋を見つける時は大変でしたが、〈もやい〉で紹介頂き、現在の満足いく部屋に巡り合えました。本当に感謝の一言です。

主な活動内容

〈もやい〉は、生活にお困りの方から年間約4,000件の相談を受けているほか、安定した住まいをもたない方がアパートに入居する際の連帯保証人も引き受けています。また、現場から見えてくる課題について情報発信したり、政策提言を行うことで、「日本の貧困問題を社会的に解決する」というミッションの達成を目指しています。

認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・東京

Voice プログラム参加者の母

バスケットボール・プログラムに参加して、17年以上。仲間も増え、スペシャルオリンピックスは、娘にとってかけがえの無い場所となっています。先日、妹が夕食の時に「お姉ちゃんは、今幸せ？」と何気なく聞いたら、微妙な質問にはすべて「わからない！」と答えることを決めて入っている娘が、この時はキッパリと「うん、幸せ。だってバスケがあるから！」と、胸を張って即答でした。スペシャルオリンピックスのお陰で、娘も私たち家族も、豊かな時間を過ごすことができています。今日もまた、大好きなバスケットボールの練習の準備に余念がない娘です。

主な活動内容

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに、様々なスポーツプログラムとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。この活動を、東京都内において実施しているのが、スペシャルオリンピックス日本・東京であり、現在は16のスポーツプログラムと6つの文化活動に取り組んでいます。



認定NPO法人 ほっとすぺーす・つき

Voice 利用者

- ここが開いていたから、どっか悪いところに行かなかった。(居場所利用/中学生女子)
- 居るときに心地がいい。食事と楽しさが両立できる場所だから来る。(居場所利用/高校生男子)
- しゃべる人がいないから場所を開けてください。(乙女の会利用/70代女性)
- メニューの数多くてびっくりです。(乙女の会利用/60代男性)
- 一番苦しいときに助けていただいてありがたかった。(メンタルフレンド利用保護者)
- ビジターさんが子どもをすごくかわいがってくれて、自分たちは宝物を育てているんだと気づいた。(ホームスター利用/20年代女性)



主な活動内容

平日15時～20時、世代を超えて立ち寄れる「居場所」を開設。「子ども食堂つき」、「学習支援」、「手ぶらで書道」、「乙女の会」、生きづらさを抱える人が集う「生き生きステーションしゃべり場さくら」を開催している。また、不登校児、ひきこもり者、子育て中の保護者を訪問し、傾聴と協働を行っている。

一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会

Voice 講座の受講を経てご自身も認定講師に

小学生の子を育てながら、看護師として働いています。仕事中は穏やかな私ですが、母としても優しく穏やかで在りたいという願いとは裏腹に怒ってばかり。そんな自分に嫌悪と否定ばかりで苦しい日々でした。しかし、「折れない心を育てるいのちの授業」を娘と共に受講したことをきっかけに、共通言語があることで、「会話」から「対話」へと変化が。次第に、互いを尊重する関係性が築けるようになり、たとえ解決困難な問題があっても、苦しみに向き合い、穏やかに過ごせることが増えてきたと実感しています。この出逢いは人生の宝です。



主な活動内容

限られたいのちに関わる現場で培ってきたホスピスマインドをもとに、人生の最期まで「私」にとっての豊かさ(Well-being)を実感できる社会をめざし活動しています。多様な関係者と連携しながら、一部の専門家だけではなく、子どもから高齢者まですべての人が苦しむ人と関わる、担い手とコミュニティの育成を行っています。

認定NPO法人 マドレボニータ



Voice 教室に参加した多胎児の母 (産後ケアバトン制度利用)

産後ケアバトン制度を利用させていただき、久しぶりに楽しみながら体を動かすことができました。双子育児をしていると、社会から取り残されているだけでなく、単体児のママさん達とも私は違うんだと、勝手に孤独感に苛まれることがあります。ですが、教室でみんなと一緒に体を動かし、お互いの話に耳を傾けられたことで、これからはもっと色々なことに自分から積極的に関わっていきたいと思うようになりました。また受講するにあたり、インストラクターをはじめ、たくさんの方々にサポートしていただけたこと、大変感謝しております。

主な活動内容

マドレボニータは「産後を起点とする社会問題の解決」を目指し、産後ケアプログラム開発、対面の「産後ケア教室」や「産前・産後のセルフケアオンライン教室」提供、多胎児の母やひとり親などの受講料補助「産後ケアバトン制度」運営、法人向け復職支援プログラム提供、指導者養成、産後の実態調査などを行っています。

認定NPO法人 静岡市障害者協会

Voice 知的障がい者の親の会(会員団体)

協会は静岡市内の障がい者のための団体として、障害者福祉制度の勉強会や防災など、会員団体のために様々な活動に取り組んでいます。昨今のコロナ禍においても、寄付で集まったマスクや消毒液を希望する団体に配付したり、行政に対し自立支援協議会の議題に「コロナ対応」を盛り込むよう進言するなどの対応をしてくださいました。非常時にはこうした迅速で柔軟な対応が必要だと思います。一人ひとりの力は小さいですが、集まれば大きな力になるものと信じています。これからも協会の活動に期待しています。

主な活動内容

当協会は日本では珍しい、種別を問わない障がいのある人たちの団体です。身体障がい、知的障がい、精神障がいの団体のほか、難病や発達障がいの団体や個人も会員です。静岡市から委託された障害者相談支援推進センター（主に基幹相談支援センター）を運営しており、なんでも相談から障害者に対する差別や虐待の相談や通報を受け付けています。また自主事業として、防災やまちづくり、バリアフリー、研修事業などを進めています。



NPO法人 地域福祉サポートちた

Voice 研修、セミナー参加者(会員団体の代表)

福祉人材育成研修では、知識や技術に留まらず、講師や地域との関係も大変重視されています。私自身もそうですが、研修を受けたスタッフは、横のつながりやボランティア精神を育ててもらうことで、その後の仕事に大変役立っています。セミナーでは、福祉NPOのための防災計画など、NPO活動を行っていく上で知っておかなければならない内容を、分かりやすく勉強できる機会を設けていただいています。福祉の現場は日々の業務で追われていますので、身近で受けられるこのようなセミナーは大変助かっています。今後も地域の要として、NPOの支援をよろしくお願いします。



主な活動内容

誰もが自分が望んでいる地域で、自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていけるよう、介護知識や技術の習得をはじめとする市民互助を育みます。さらに、分野を超えた情報交流ネットワークを広げ、市民参画の場づくりや協働プロジェクトをつくり、政策提言を行っています。

NPO法人 りんりん

Voice 支援学級生徒さんと デイサービスでの交流会参加

交流会も9回目となりました。「自分という存在は、誰かに何かをやってもらえばかりでなく、自分という存在が、誰かを笑顔にしたり、希望を与えたりする。」そのことに気づいてほしいと願い、スタートしました。続けて分かってきたことですが、この場が子ども達の成長に繋がっています。話が苦手な子が話せるようになり、自信のない子が司会をやるようになりました。りんりんのみなさんも、歌を練習してくれたり、プレゼントを用意してくれたりしています。「お互いにとって、メリットが生まれる。」そんな交流会を今後も続けていきたいと思います。



主な活動内容

1994年一人暮らしの高齢男性が退院後の生活支援を求めており7人の女性たちが活動した事が始まりのきっかけです。1999年特定非営利活動法人りんりんとして「困ったときはお互いさま」の精神でたすけあうところですべての人がけんこうであんしんして暮せるいい街づくりを目指しています。

NPO法人 HA-HA-HA



Voice 利用者の母

本人は自分の気持ちを出表することが苦手で不安定になることが多々ありました。HA-HA-HA施設『子L A B』さんでは本人に寄り添い支援をいただいているおかげで、少しずつ気持ちを出表できるようになりました。今では職員さんをお願いして、本人の気持ちを聞いてもらっています。不安定になることも少なくなりました。他にも外出や学習支援で自分でできることが増え、楽しそうにしている姿を見て親としてもうれしいです。本人を客観的に捉えながら、本人が楽しく取り組める支援をしていただき本当にありがとうございます。

主な活動内容

子どもや障がいの福祉を通じ、みんなが『そのままに暮らす』コミュニティ作りに向け、①みんなが主体的に活動し、②生活で使える、③根拠のある支援、④家庭・保育園学校・就業先等の環境調整、他業種・多職種連携を実施し、またスタッフが心豊かで、常識に囚われず、遊ぶように課題解決する環境育成を大事に活動します。

社会福祉法人 倣裏会

Voice 生活支援をご利用された高齢者のご家族様

身の回りの世話をしたいと思ってはいるのですが、遠方で(新型コロナ禍もあり)頻繁にも行けず心配していました。どこにもお願いできないちょっとした用事でも、すぐ対応して頂けるサービスがあって家族も喜んでおります。朝のゴミ出しや灯油の入替など、とても親切に安く提供して頂くことで、今では何でも対応してくれる『あゆみさん』に気軽に相談していると聞いて安心しています。また、年金生活の母の今後の生活を見据え余計な費用(材料費は実費、出張相談・見積費用は無料)が掛からないのも魅力です。



主な活動内容

社会福祉法人倣裏会では2017年より住み慣れた地域での在宅生活を支えるために、高齢者(世帯)を中心に生活困窮者への生活支援(ごようきき)サービスを開始して制度の狭間で手の届かない様々なお困りごとの支援を実施。

社会福祉法人 松花苑

Voice 施設利用者のご家族

職員様のおかげで、本人は楽しく過ごさせていただいており喜んでおります。永い間一生懸命、自分でさせるよう、しっかりさせるよう努力してきたのですが、私の力では「お母ちゃん、やっといて」と言われ、それ以上させようとする怒ってくるし困っていましたが、今は自分でやっているし、「大人やな」と褒めることが多くなり、心から喜んでおります。



主な活動内容

京都府南丹圏域にて、入所施設、通所施設、グループホーム、居宅介護、相談支援、障害者就業・生活支援センターなどの事業を幅広く展開し、日常生活・日中活動・就労等の支援を通じ、障害のある方たちが地域の中で主体的に自分らしく暮らしていけるよう、ライフステージに沿って必要な支援を提供しています。

社会福祉法人 京都基督教福祉会

Voice 保育所利用者

月見ヶ丘こどもの家にて兄弟でお世話になっております。キリスト教保育を中心に、日々の保育、行事を通じて一人一人が大切にされ、先生方、地域の方々と共に子どもたちの成長を見守って頂いていることを実感しております。モンテッソーリ教育に触れ、縫いさしや教具を使って、好きなことに集中できる環境の中で毎日楽しそうに通っています。先生方には子育ての相談にもお預かり頂きとても心強いです。コロナ禍で色々な制限がある中、保護者が安心して預けられるよう様々な工夫をして保育をしてくださる先生方に感謝しております。



主な活動内容

始まりは保育園です。1949年京都市西京区桂の地で児童福祉事業を始めました。その後、保母養成に取り組み、後に厚生労働省の認可を受けて、保育士・介護福祉士の養成校を設立し、多くの社会福祉を担う人材育成をしてきました。誰もが自分らしく生きられる社会の創生を使命とし、障がい児・障がい者通所施設、高齢者施設の事業も運営しております。

社会福祉法人 みねやま福祉会

Voice 保護者・利用者ご家族



- いつも安心して預けることができ、子どもと接することがつらくなる時も温かく迎えてくれる先生たちに、とても感謝しています。子ども達も先生が大好きです。ありがとうございます。(保護者)
- 両親がともに働いているので、特に延長保育や休日保育等、柔軟に体操していただきありがたく思っています。(保護者)
- いつも様々な相談に応じていただき、家族にとって心強いです。(利用者ご家族)

主な活動内容

NEXT FUKUSHI—丹後からはじまる新しい福祉—

私たちのミッションは「福祉の仕事で地域課題を解決すること」です。京都府北部地域における人口問題は日本の中でも深刻な課題を抱えています。しかし、考え方を転換すれば、私たちの取り組みによってこの地域を維持することができれば、課題先進地域である丹後地域から日本の人口問題を解決する「新しい福祉モデルが誕生する時代」とも考えられます。その為に私たちは、日本を救う仕事へと「福祉をアップデート」していきます

認定NPO法人 プール・ボランティア

Voice 障害のある利用者

体を動かす機会が少ないのですが、毎週マンツーマンでの水泳指導のおかげで、運動不足が解消され、クロールが泳げるようになりました。私は、重度な身体障害があり、車いす生活者です。20年間、お世話になっています。ボランティアさんと一緒にプールに入るのは、とても楽しいです。上手に言葉でして欲しいことを伝えるのは難しいですが、伝える工夫ができるようになりました。難聴の息子は、プールに入る時は補聴器を外すので心配でしたが、このヘルプマーク・スイムキャップをいただいたので安心してプールへ送りだしています。

主な活動内容

「障害者も健常者も同じようにプールを楽しめる社会の実現」(定款第3条)を目的に活動をしています。一般の市民プールを利用し、障害者にマンツーマンで水泳指導やプール・リハビリをしています。

◎ヘルプマーク・スイムキャップを全国に無償配布。

◎プール専用車いすや重度身体障害者用浮き具の販売。



認定NPO法人 さわか千の里



Voice たすけあい利用者

家の中ばかりいた時、知人に誘われて居場所に参加しました。生活が一度に明るくなりました。また、自宅からバス停まで遠く、坂が急なため、自宅まで迎えにきてくださる福祉有償運送サービスを利用し、通院や買物などにも自由に行けるようになりました。ドライバーさんも親切で安心して利用できました。いつもありがとうございます。

主な活動内容

“困ったときはおたがいさま”の精神で互いに助け合える、地域に根差した活動をして27年目です。創設5年目に法人化し、居場所も開設、公的サービスでは賅えないたすけあいサービスを提供。この地域は坂の多い街で高齢者や障がい者など移動制約者のための福祉有償運送を行っています。

NPO法人 市民後見ひょうご

Voice 支援していたご夫婦
(夫:成年被後見人、妻:被補助人)

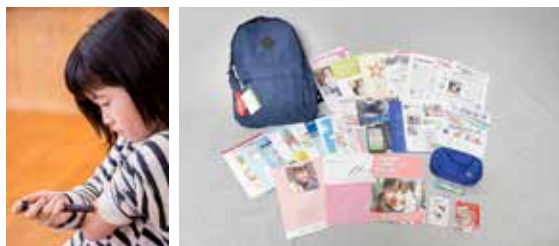
夫(83歳)が亡くなり生きる希望を無くされた入院中の妻(80歳)を元気付ける為、連絡が途絶えていた東京在住の姉に連絡を取りました。また、ご夫婦が残された自筆証書遺言の検認申立を行うに当たり、夫婦合わせて11人の相続人を洗い出して連絡を取りました。コロナ禍の困難な状況下で、亡くなる前の意識がある内に面会を実現できたこと、そして相続手続きの支援まで行なった結果に対して、ご親族一同から多大の謝意が表されました。

主な活動内容

私たちは判断能力の低下が生じた高齢者の方等に対して、市民後見人として、ひとり一人が人間としての尊厳を保ちながら、安心・安全な社会生活が送れるよう市民の立場に立った生活見守りや、成年後見制度に関する相談及び支援を行います。またその質を高め、常にご本人の意思を最大限に尊重しながら、ご本人に寄り添った身上保護(身上監護)と適正な財産管理を行っています。



認定NPO法人 日本IDDMネットワーク



Voice 患者家族

本日、「希望のバック」が届きました。まだ二歳の幼い娘が10月末に、ケトアシドーシス(注:高血糖による意識障害・昏睡)の状態で入院し、1型糖尿病と宣告されました。突然の発症や、初めて聞いた病名、一生インスリンを使用しなければ生きられないとの医師からの宣告に、絶望の淵に立たされたような想いで自分を責めたりと、涙の日々を過ごしました。希望のバックには、たくさんの資料があり本当に心の底から有難く、御礼のご連絡をさせていただきました。

主な活動内容

日本IDDMネットワークは、不治の病である1型糖尿病をはじめ、注射等によるインスリン補充が必要な患者と家族が希望をもって生きられる社会の実現を目指して活動しています。発症初期の患者・家族に必要な情報やツールをまとめてお届けする「希望のバック」プロジェクトや1型糖尿病の根絶につながる研究費助成等を行っています。

社会福祉法人 対馬市社会福祉協議会

Voice 介護者

親の介護で悩んでいたけど、介護の相談ができ、介護を受けられるようになり気持ちが楽になりました。ヘルパーさんに来てもらって助かっています。何年もお風呂（浴槽）に入ることが出来なかったけど、訪問入浴事業を利用することが出来て、母はお風呂に入れる喜びを感じていると思います。

Voice サロン事業参加者

普段、家に閉じこもりがちだった私ですが、熱心な勧誘があり思い切って参加してみたら、同じ地区なのに何十年ぶりの会う方、久しぶりにお喋りしたり笑ったり、楽しいゲームをしたり、充実した時間が過ごせました。また、次回のサロンも参加したいです。

主な活動内容

ボランティア・市民活動センターの充実強化、ふれあい学習事業（福祉教育）の推進、総合相談（無料法律相談、障害者相談支援）事業の充実強化、「権利擁護センターつしま（法人後見事業）」の設置運営、福祉資金貸付事業の実施、在宅福祉サービス（訪問介護、通所介護、訪問入浴、居宅介護）事業の実施、サロン事業（居場所作り）の実施、会員制度の普及・啓発、寄付金・基金の有効活用の検討、市民に信頼される社協、地域課題解決を目指して、上記の活動を展開しています。



認定NPO法人 ホームホスピス宮崎



Voice ホームホスピス （かあさんの家）の入居者のご家族

病院の頃は、褥瘡が酷いから皮膚に触れることも禁止されていました。それがここ（かあさんの家）へ来ると、スタッフの方が『そんなことはない。触ってください。』と言うんです。寝たきりだったのが、車椅子で生活できるようにもなりました。すると褥瘡もみるみるうちに良くなったんです。ずっと混乱していたけど、今では気持ちよく看取ってあげたいと思えるようになりました。ここに来て何をやるわけでもないんですが、母の隣にいただけで私は幸せです。

主な活動内容

現在、全国63カ所に広がっているホームホスピスの先駆けとなった「ホームホスピスカあさんの家」を宮崎市内に4軒運営しています。また、医療的なケアが必要なお子様のための短期入所や日中一時支援を行う福祉施設「HALEたちばな」や訪問診療専門の「みつばち診療所」、地域の人が気軽に利用できる「暮らしの保健室」などを運営しています。



東京都江戸川区

<http://edogawa-ecocenter.jp/>

認定NPO法人 えどがわエコセンター



Voice 各種講座・イベント参加者

えどがわエコセンターが主催する講座やイベントによく参加させていただいていますが、参加するたびに、毎回、地球環境にやさしい暮らし方に変えていかなければいけないということを考えさせられています。毎日の暮らしの中で、自分でできることを小さなことから始めてみるのが大切だと実感しています。ぜひ、これからも活動に参加させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

主な活動内容

一人ひとりが環境に配慮して暮らすまち「日本一のエコタウン」を目指して、平成16年に設立。「地球規模で考え足元から行動していく」を合言葉に、区民・事業者・行政等と連携しながら、地球温暖化防止、循環型社会づくり、自然環境保全、環境教育など、様々な活動を通じて持続可能な社会づくりを続けています。

NPO法人 エヌピーオー・フュージョン長池

Voice ボランティア参加

NPOフェスティバル(八王子のNPO法人や市民団体の情報交換会)にNPOフュージョン長池さんが参加し、活動拠点の長池公園から20分間ライブ中継されるとのことで、ボランティアとしてお手伝いをさせていただきました。私自身も地域でボランティア活動に関わることが多く、円滑な協働や運営面などで難しく感じることもありましたが、団体としての人との関わり方、ものごとの進め方など、とても多くのヒントをいただきました。自然あふれる元気な地域づくりに参加させて頂き、とても勉強になりました。有難うございました。



主な活動内容

当団体は、八王子市の多摩ニュータウンにおいて、市民協働型の都市公園管理運営や環境保全・教育などの事業を行い、豊かな自然環境を守り育てながら、子供たちをはじめとする人財の育成を行い、又、住民一人一人が自己実現を果たせる多様な場を創出することで、全ての世代が生き生きと暮らせるまちの実現を目指しています。

認定NPO法人 アクト川崎



Voice 連携協働しながら活動しているボランティア団体メンバー

コロナ禍が進む中、従来の対面による活動を行うことが難しくなってきたとき、早い段階からZOOM講習会などを行い、コミュニケーション維持への支援をいただいた。また、夏休みの小学生向けリモート工作教室を行うにあたって、技術的アドバイスもいただき、参加した子どもが全員、工作完成に至ることができ、画面越しながら、子どもの笑顔を見ることができた。

主な活動内容

日本でも本格的に始まる「2050年二酸化炭素排出実施ゼロ」を推進するため、今までの地球温暖化防止の活動をふまえ、市民、事業者、諸団体、行政と脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。また、学校や様々な団体へ実施する「SDGsと気候変動」等の出前授業・講座を通じて、生き生きとした社会、未来を作っていく。

認定NPO法人 自然再生センター

Voice ボランティア参加、相談者

2018年、本校はユネスコスクール加盟に向け、山陰の地域性に特化した「水」をテーマに活動を開始した。当初は試行錯誤であったが、認定NPO法人自然再生センターの助言により、活動の骨組みが明確化し、本校の課題解決活動の牽引的役割を果たしている。生徒たちは学校法人だけでは体験できないことを、自然再生センターが主催する事業活動に積極的に参加し、地元住民と交流することで課題を実感した。豊かな自然のフィールドが整う中でユネスコスクールの提唱する「持続可能な開発のための教育」を本校が実践することを可能にした。



主な活動内容

世界に誇るラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖の、自然環境や資源循環を再構築することを目指しています。なかでも自然再生推進法の下「浚渫地埋め戻し実証事業」「海藻類の利活用事業」は専門家のエビデンスを強みとしています。また、次世代や住民参加の場を広げながら、楽しめる包括的自然再生を展開しています。

特例認定NPO法人 三段峡-太田川流域研究会



Voice 野外博物館ツアー（環境教育）参加者

自然は当たり前そこに存在するものではなく、誰かが守り、受け継いできたものであるということを実感しました。加計の林業や製鉄による実利を伴う自然利用、三段峡をはじめとした自然保護と心の安らぎとしての自然利用、そして現在のさんけんの皆さんによる自然の活用、保護、再生へとつながる流れは、日本全体の自然観の縮図のような気がします。私自身はこれまで自然に親しむだけで、「活用」や「保全」といった考えを持たずに生活してきました。だからこそ、今回の実体験を通して、自然を見る「目」が変わったような気がします。

主な活動内容

渓谷の新しい価値を提供するため、三段峡を美しい山水画の美術館として、豊かで特徴的な生態系の博物館として見つめ直していくことを目的に、「三段峡野外博物館プロジェクト」を実施する。希少種の保全活動や町内外の子どもたちに向けた環境教育プログラムを提供し、広島県自然の特徴や太田川のつながりを伝えている。



東京都新宿区

<http://acef.or.jp/>

認定NPO法人 アジアキリスト教教育基金



Voice バングラデシュの小学校卒業生

小学校は勉強の喜びを教えてくださいました。たくさんの学びを得て、良い人生を歩んでいます。教育は成長するのに必要な光です。みんなが学校に通い、学べるようになって欲しい。これからもたくさんの子どもたちを支援して欲しいです。

Voice 日本の学生ボランティア

ボランティアを始めた時は学生に何ができるのかと自らを無力化していました。しかし様々な事業に参加する中で、学生は社会問題を学ぶだけでなく、解決のための行動も起こせるのだと気づきました。エイセフでの一つ一つの活動が私たちにとって自信となっており、大変感謝しています。



主な活動内容

当団体は、1990年の設立以来バングラデシュの教育支援とアジアの社会課題に関心を持つ日本の若者の育成に取り組んできました。現地でパートナー団体と共に貧困家庭の子どもも学べるようにと小学校を設立し、教育支援を継続しています。また、スタディ・ツアー等を通じてアジアの人々が共に生きる社会を目指しています。

認定NPO法人 市川市ユネスコ協会

Voice 市民公開講座講師及び参加者

ユネスコは未来への橋渡しとして子どもたちを支援する、という意味で活動に賛同していますが、認証を受けたことで、より前向きな姿勢が読み取れて、安心感があります。また、女性が活躍している場面が多く、未来に開かれた団体だと感じています。積極的に市民と関わろうとしている様子が窺えます。「SDGsの学び」を講座で扱ってくれて、少し勉強になっています。市民としてはまず知ることから始まるので。



主な活動内容

・日本語講座3教室：外国籍の人に日本語を教える。1週間1回2時間、3か所で実施。・市民公開講座、市民研修でSDGs（持続可能な開発目標）17項目のうち、ユネスコに関係ある環境、学び、だれも置き去りにしない等をまずは市民に学ぶ機会を提供する。・「平和の鐘を鳴らす」8月15日の終戦記念日に、再び争いが起きないように平和の尊さを市民に呼び掛ける。7か所で12時に同時に鐘を鳴らす。・「ユネスコ絵画展」地域にある大事な遺産、宝物を見つけ守るために描き残す絵画展。・「サタデースクール」土曜学習支援。青年、高校生が子どもの学習支援をする。・「音楽祭」「世界の料理教室」「書き損じハガキ回収」、また時宜に合うものを単発で企画。

認定NPO法人 地球市民の会

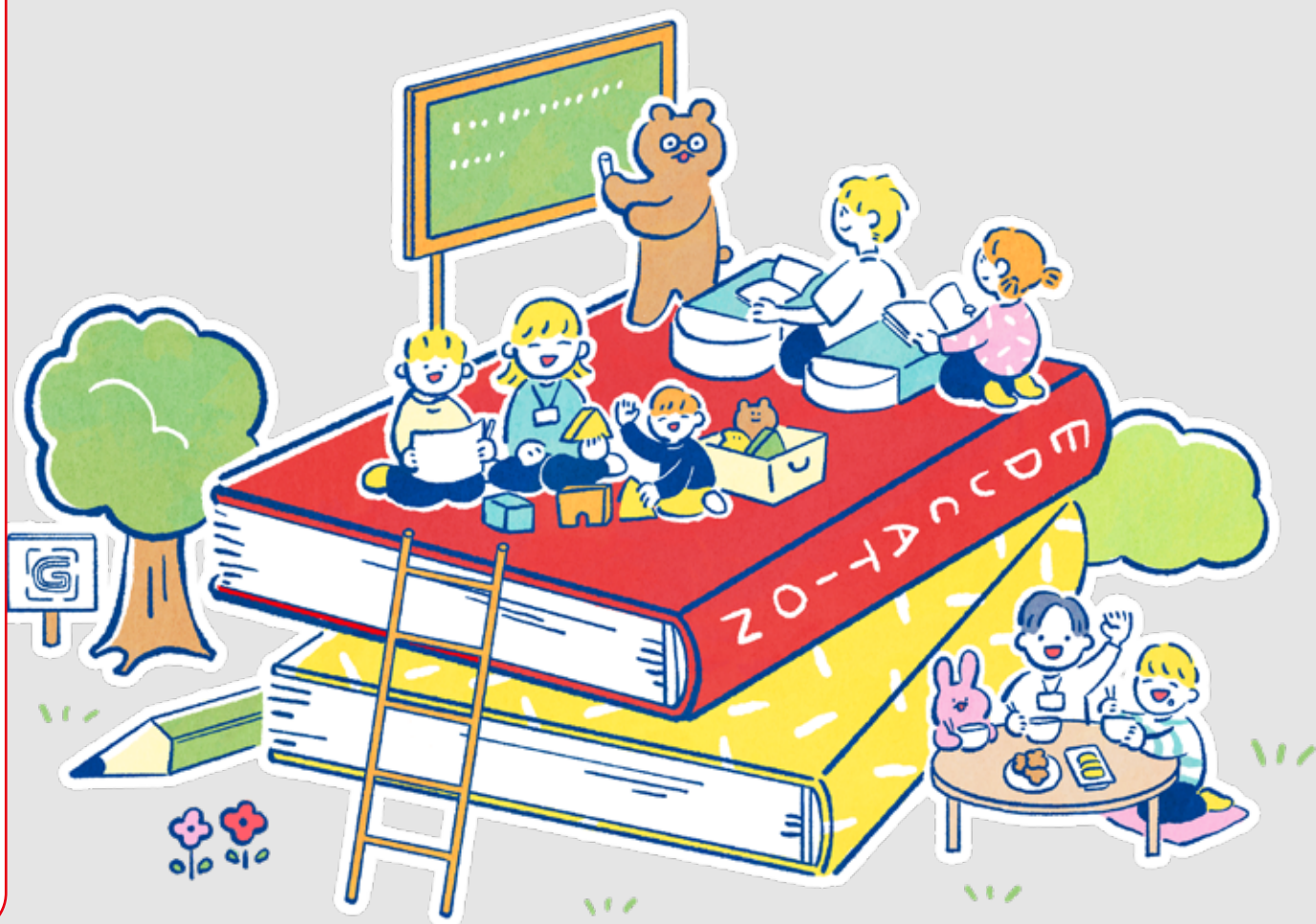


Voice 協働事業相手 (子どもの居場所づくり実行委員会)

地球市民の会がいなければ、子どもの居場所づくりの活動はできていません。子どもの居場所に海外の人を呼んでもらったり、大学生への声かけ、食べ物の寄付集めなど、本当に一緒にできて助かっています。以前に比べ、地域の子どもたちとの関係が希薄なってきましたが、子どもと道で会った際「おばちゃん」と呼ばれるぐらい関係性ができています。コロナの影響もあり、子どもたちによってはより苦しい状況にあると思います。これまで以上に子どもたちに手を差し伸べられる居場所でありたいと思います。

主な活動内容

世界中の人々がすべてのものの幸せを、自分の幸せと感じられる人＝地球市民を広げていくため、国際協力や国際交流を通して、地域づくりに取り組んでいます。国際協力：タイ、スリランカ、ミャンマーで教育支援や村落開発 国際交流：韓国、中国との大学生の交流事業、アジア各国の青少年の招聘研修 地域づくり：佐賀市中山間地域づくり事業、子どもの居場所づくり事業 地球共感教育：学校や企業等への講師派遣（SDGs推進）



北海道帯広市

<http://www.play-on-tokachi.net/>

認定NPO法人 子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち



Voice 会員の声

- コロナ禍で家族以外とほとんど関わることのない生活が1年ほど続き、その間ずっと「居場所が欲しい。夫でも親でもない誰かと子どものことや他愛のない話をしたい」と思っていました。優しく温かく迎え入れてくれる雰囲気と心底ほっとし、視界が急に明るくなったような気持ちになりました。
- 子どもの成長を共に喜び寄り添ってもらえる場・人たちは他にはないと感じます。
- 子どもの手が少し離れ、してもらったことを返せる場があることは有難いこと。

主な活動内容

「ぷれいおん(play on)」には「もっと遊ぼう!みんなで遊ぼう!」という想いが込められています。「子どもは遊びで育つ」「みんなで子育て」をモットーに、赤ちゃんから大人まで異年齢・多世代での遊びや交流活動を通じて、豊かな子どもの世界、子どもの育ちを見守る地域社会をめざしています。

認定NPO法人 こども∞感ぱにー

Voice プレーパーク、フリースクール利用者

不登校になった時に、スタッフの方たちにたくさん支えて頂きました。学校のことで両親と言い争うことが多くなり、その度に親身になって学校のこと、両親のことでたくさん相談にのってもらいました。今考えると有難かったと感じます。普段の学校では学べない、保護動物たちの今の現状や、幼い子との遊びかた、目上の方とのコミュニケーションのとり方を特に学ぶことが出来ました。そして私はスタッフの方の力を借りて行きたかった高校に進学することが出来ました。スタッフの方が背中押してくれたおかげで今を楽しく過ごせていると感じています。

主な活動内容

本会の事業の柱は2つ。東日本大震災により、子どものあそび場や居場所が姿を消した宮城県石巻市で、プレーパーク(屋外型児童館)事業とフリースクール(不登校の子どもの自立支援)事業をおこなっています。子どもらしい子どもの育成と、虐待や不登校で悩む子どものサポートするために、私たちは地域の一員として「遊びを保障」できる場と、子どもが安心して過ごせる「居場所」をつくり続けています。



NPO法人 やっぺす(前:石巻復興支援ネットワーク)

Voice 女性起業家スクール受講生



「やっぺす」は居場所です。ここがあると安心する。私にとっても、やっぺすに関わったみんなにとっても同じだと思います。起業支援も復興支援もどれも素晴らしい活動をされていますが、ポイントは「やってくれる」ではなく、「自立させてくれる」ところ。やっぺすに依存するのではなく、その人が一人で立て歩けるようにしていくという活動が一番すごいと思います。

主な活動内容

石巻圏域において、地域の課題解決にむけ、女性の相談窓口設置・女性のためのスクール事業・ママこども食堂や子育て相談会の実施・シェルター運営・パントリー運営・公営住宅を中心とした地域のコミュニティ形成支援・被災した母親への内職仕事の提供等を、地域住民・企業やNPO、行政等と協働し取り組んでいます。

NPO法人 寺子屋方丈舎

Voice インターンシップ参加者

- 場の雰囲気が「教室」というよりも「秘密基地」のような印象を受けた。大人に見守られておるけれど、一人一人が自由にリラックスした状態だった。
- スタッフと話をしていて、絶対に否定から入らないで共感してくださる方が多かったので、とても話しやすかったです。
- 少し身構えていたが、話をしてみるととても良い子たちだった。話しやすかった。



主な活動内容

- ・フリースクール/通信制高校・トレーラー事業(不登校の子供の教育機会の提供)
- ・環境教育事業(「自遊学キャンプ」「冒険ひろば」など学校外の遊びの場を通じた能動性・コミュニケーション能力の育成)
- ・こども食堂事業(会津若松市3地区におけるこども食堂の運営)
- ・被災者支援事業(大熊町のこどもたちへの放課後居場所事業)、他

NPO法人 食育研究会Mogu Mogu



Voice イベント参加者(大人の声)

- 収穫体験だけでなく、生産者の「心」を知る会、貴重でした。
- いつも子どもがやる気満々で興奮するほど楽しんでいます。食育にもよく、家でもお手伝いをしてくれます。
- 会を重ねるにつれて家族の楽しみが大きくなり、ライフワークになりました。

Voice イベント参加者(子どもの声)

- 料理を作るときに、おいしくなってねと思いながら作ることが大切とわかった。

主な活動内容

食べるモノも情報もあふれる現代。好き嫌いから日本の伝統食まで全部ママの責任?なんて無理、無理。そんな思いのママたちが集まって始めました。だから、まずは子どもたちと一緒に自分たち大人も体験するところからスタートします。大切にしていることは一次体験、つまり自然の食べ物と直に触れあうことです。そして、食べ物のプロや先輩に直接、どんどん教えてもらう。失敗も笑い飛ばしながら経験を重ねていくNPOです。

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

Voice こども食堂運営者

新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト「こども食堂基金」は、支援の大きな支えとなりました。ひとり親家庭へのお弁当配布、楽しいプログラム企画を実施し、コロナ禍でも繋がりを断つことなく笑顔に会える時間を持つことができました。また、地元のスポーツチームとのご縁もいただき、バックヤード見学と試合観戦もできました。今後も「結び会う」取り組みをよろしくお願い致します。



主な活動内容

むすびえは、こども食堂の支援を通して誰もとりこぼされない社会をつくりたいという思いを持って活動をしています。各地域のこども食堂ネットワークを支援すること、何か社会に貢献したいと考えている企業・団体とつながりこども食堂へ支援を届けること、調査・研究をし、啓発をしていくこと。私たちは、3つの軸で、歩んでまいります。

認定NPO法人 カタリバ



Voice 被災地の放課後学校「コラボ・スクール」参加

コラボ・スクールに通い始めたのは、小学校4年生のときです。友だちもたくさん通っていたので通い始めましたが、勉強はとても苦手でした。そこで カタリバのスタッフと話し合い、毎日コラボ・スクールの自習室に通って、小学1年生からの内容を復習することにしました。すると小学校6年生の時のテストで初めて満点を取ることができました。今年から中学生になりました。前は、先生や親に言われるがままにやっていた勉強も、いまでは「今日はこれをやりたい」と、自分で学習内容を決められるようになりました。

主な活動内容

どんな環境に生まれ育った10代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から活動する教育NPOです。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいます。

認定NPO法人 育て上げネット

Voice 若者(支援プログラム参加者)

進路が漠然としていて「このままでいいのかな、自分は何をすればいいんだろう」という状況の中で、育て上げネットが行っている講座を見つけました。講座の中で「70%でいいんだ」という考え方を教えていただいたことで、それまで100%を目指して前に踏み出せなかった自分が、一歩踏み出せるきっかけを作ってくれました。2ヶ月間お世話になって講座で学んだ動画編集の仕事をしたいくて、自分でも勉強して、動画編集の会社に応募、採用になりました。会社の方はみんな優しく、お昼も一緒に食べに行く仲間ができました。



主な活動内容

すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。当事者や家族の支援だけでなく、可視化・体系化された支援スキルによる育成、や地域社会・行政・企業など若者を支援する担い手を増やす働きかけなど、多岐にわたる支援を行っています。

認定NPO法人 キーパーソン21

Voice 会員



私に関わる学習塾で子どもたちから「なぜ勉強が必要なのか」と度々問われていた頃、私は衝撃的にキーパーソン21の「わくわくエンジン」に出会いました。活動を通して仲間を得、自分とも向き合う中で「みんなが安心して自分らしくいられる場をつくること」が自分の軸であると自覚できました。また、子どもたちのよい所を引き出し、認め、伴走する姿勢で接するようになったことで対話が格段に増え、彼らと対等に接することができるようになったと思っています。今は塾が「子どもたちにとって安心できる居場所」になったことに喜びを感じつつ日々前進しています。

主な活動内容

私たちは「誰もが自分を活かしていきいきと仕事をして生きていくことができる社会」を目指して活動する教育NPOです。＜主役は子ども、きっかけは大人＞を合言葉に、あらゆる立場の大人と協働し、オリジナルの教育プログラムを通して、子どもたちの動き出さずにはいられない原動力「わくわくエンジン®」を発見、応援する活動を行っています。

認定NPO法人 ポケットサポート

Voice 保護者からの声

中学3年生の娘は思春期ということもあり、周りから特別なサポートを受けることをあまりよく考えていませんでした。でも、同じように闘病しながら頑張っている仲間がいることや、学校の先生だけでなくポケサポさんや教育委員会の方など応援してくれている方がいることを知り、今では病気でも前向きに一步步行動ができています。



Voice イベント参加者からの声

今後も病気の子どもたちの学習や自立などの支援活動を進めながら、実践ノウハウや個別相談事例を蓄積していく、全国規模で同じようなサポートが広まっていくためのリーダー的な立ち位置になることを期待しています。

主な活動内容

私たちは小児がんや心臓病などの慢性疾病を抱える主に小学生～高校生とその家族を対象に「病気を抱える子どもたちが将来に希望をもって自分らしく暮らせる社会」をビジョンに掲げ、入院治療中から退院・復学・自宅療養中まで学習の遅れを補うための学習支援や、同じような闘病経験のある同世代との交流支援、病気療養する子どもたちの多職種連携を広げる啓発活動に取り組んでいます。

NPO法人 こども未来ネットワーク



Voice 夏休みボランティア体験事業 アナログゲーム体験会の受講者

みんなで協力するゲームを多くやったのですが、ルールもしっかり聞いてくれたし、お互いにアドバイスしながら、上手にできていたのでもううれしかったです。(高校生ボランティア)



Voice コンサートのオンライン配信 事業公募の参加者

コロナ禍で人との関わりが減っている中、歌ったり体を動かしたり、集中して楽しめ、じっと座ったり静かに聞いたりすることが苦手な子どもも、リモートなら安心して参加することができました。「たのしい歌や、がっそうがきけて、よかった」「おもしろいところもあってよかった」(子ども)という声も聞かれ、またぜひやって頂きたいです。(児童養護施設職員)

主な活動内容

子ども達に豊かな子ども時代を過ごして欲しいと願い、文化芸術体験や心弾む遊び体験の場を設けると共に、そうした場作りが県内各地で継続的に実施できる仕組みや人的ネットワークづくりをめざし活動しています。幼い時にこそ、心の深いところを揺り動かす「ほんもの」との出会い、人のぬくもりが感じられる体験をしてほしい。私たちの活動がその手助けとなることを願っています。"つもれ つもれ こころのえいよう"

認定NPO法人 子どもシェルターモモ

Voice 女子用自立援助ホーム「あてんぼ」退所者

出会う前は自分の将来の事なんか興味もなかった。どうせ楽しくもない毎日だと思っていた。出会った時はみず知らずの県に1人で行く事、誰も知り合いがおらん所に行くのが不安だった。モモの人に出会って人生が楽しくなった。こんな人に自分もなりたかった。頼れる所ができて今はシアワセです。

Voice 女子用子どもシェルター「モモの家」退所者

大人を信じる事が出来なくなっていた私でしたが、モモの職員の方たちとの関わりで大人に対しての見方も変わり、自分自身が大人になった事で人(大人)を信用するという事ができるようになりました。



主な活動内容

虐待や様々な事情で家庭や施設で暮らせないハイティーンの子どもの緊急避難先としての「子どもシェルター」や共同生活の場としての「自立援助ホーム」、施設を退所した子ども・若者を支える「アフターケア相談所en」を設け、弁護士や様々な機関等と連携し、一人ひとりの自立に向けた、切れ目のない援助をしています。

認定NPO法人 こどもステーション山口

Voice 会員

私が『山口おやこ劇場』にお世話になり始めたのは35年前。活動は、生活の一部でした。舞台では、迫力に圧倒され、興奮が収まらなかった感覚を鮮明に覚えています。こんな経験を我が子にも!と思っていたので、子供が産まれたら入会することを決めていました。そんな子供も7歳。舞台を見て「吸い込まれて、夢中になっちゃった」や「やってみて良かった!」という感想を聞けるようになってきました。こどもステーション山口は、目で見て、耳で聞いて、体と心を動かし、頭を回転させ、全身をフル回転できる環境だと感じています。これからも、親子ともども沢山の経験を重ねさせていただきます!



主な活動内容

子どもたちがさまざまな体験とたくさんの人との出会いの中で豊かに成長できるように活動をサポートしています。こどもまつり、いちにちプレーパーク、こどもキャンプ、中高生グループ活動など子どもたち自ら企画する活動と、プロの舞台芸術鑑賞を行っています。いちどきりの「子ども時代」を“心ゆたか”に。

認定NPO法人 わははネット

Voice 子育てひろば利用者

双子を妊娠中に、実家の沖縄から転勤で高松に引っ越してきました。実家から遠く離れ、誰も頼る人がいない中、市役所の多胎児相談で聞いて見学したのが、わははネットのひろばとの出会いです。スタッフの方はいつも温かく迎えてくれ、ひろばのイベントを通して同じ多胎児を育てている仲間とのつながりもできました。多胎児ならではの悩みを分かってもらえる、それだけで少し元気が出ました。我が家はまた東京への転勤が決まってしまいました。コロナ禍での転勤は不安しかありませんが、スタッフさんや仲間の支えで前向きに考えられています。



主な活動内容

「香川から子育てをもっと楽しく！」をモットーに、子育て支援活動を実施。地域密着型の子育て情報誌「おやこDEわはは」の発行や、親子の集う子育てひろばを県内4拠点で運営。子育て家庭の困りごとに直接かかわる事業の他、子育てを担う人材育成や、働き方改革など子育ての環境を改善するための事業も多数実施している。

認定NPO法人 とす市民活動ネットワーク

Voice 木もくひろば参加者 木育推進員養成講座参加者

- たくさんの積み木に子どもも大喜びで親子でいつも楽しんでいます。
- 木育について広く学ぶ事ができました。
- 木育推進員養成講座は最高に内容の濃いわかりやすい講座でした。「どんなものかなあ？」と思いながら今日は来ましたが、新しい人とも知り合いになって、皆さんのいろんな考えが聞けて、また、先生にも森林の現状を聞けてとても勉強になりました。
- 授業で習った事や、初めて知ったことがあって、聞いてとても楽しかったです。相手に説明するのは大変だし、ドキドキしたけど良い経験になった。(高校生)



主な活動内容

当法人は、企業、行政、大学等と連携しながら、県産材の利活用と森林保全を目的に「木育」活動を実施し、子ども達をはじめとする人材育成を行い、又、佐賀県東部地域での草の根の市民活動を応援するために「NPO応援GO!GO!基金」を設立するなど様々な活動を通じて持続可能な社会づくりの実現を目指しています。



岐阜県岐阜市

<http://human-animal.jp/>

認定NPO法人 人と動物の共生センター



Voice 犬・猫の飼育に関するご相談者

飼い犬が関心のあるものに異常なまでに向かっていく様子が増え、何かおかしいのではと感じました。しかし、本法人に通ううちに徐々に改善され、今では行くことが一緒に活動する良い機会になっています。また、同世代の人が「年齢的に動物を飼えない」と言っているのを聞き、ハッとしたことがありました。その責任の果たし方に困っていたときに、互助会パンフレットを見て、何かあった場合をお願いすることを考え出し、契約に至りました。万が一のときに、愛犬愛猫を頼める場所があることがとても安心につながっています。

主な活動内容

人と動物が共に暮らすことで生じる社会的課題解決のため、適正飼育普及／高齢者とペットの飼育困難支援／ペット防災／野外繁殖抑制／ペット産業CSRを基軸として活動しております。活動を通じ、動物を含めた他者への配慮・尊重を実践する中で、誰もが他者を思いやれる社会づくりに貢献するという理念を実現していきます。

<http://www.smile-fund.jp/>

当法人は、この間継続して事業者の不当な規定等について差止請求を行っておりますが、弁護士費用を減額せざるを得ないこともあり、消費者スマイル基金から助成していただき大変助かりました。適格消費者団体が継続して活動していく上で、消費者スマイル基金はとても必要な存在であると思っております。

30

認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会

Voice 研修・イベント参加者

非営利セクターの大きな課題である財源について、ファンドレイジングの思考を基礎から応用、実践など体系的に学ぶことのできる場が今まではほとんどありませんでした。協会の資格制度で学ぶことで、財源確保の手法だけでなく、課題解決のための組織・事業戦略を一体化した計画づくりのプロセスを学ぶことができました。また、多くの仲間とつながる2000名規模のファンドレイジング・日本(FRJ)のカンファレンスの場やオンライン研修は自分自身のモチベーションを上げるとても有効なものになっています。



2019年9月に開催したファンドレイジング・カンファレンス「FRJ2019」にて

主な活動内容

寄付・社会的投資が進む社会の実現を目指し、ファンドレイジングに携わる人々や、寄付などの社会貢献に関心を寄せる人々のためのNPOとして、認定ファンドレイザー資格制度やファンドレイジング・日本の開催、子ども向けの社会貢献教育、遺贈寄付の推進、社会的投資推進のための調査研究、寄付白書の発行に取り組んでいます。

NPO法人 アートコラールきくがわ



Voice 相談者

地域で学習支援、居場所づくりの活動を始めたくて相談に行きました。最初に活動の目的を聞いてくれ共感してもらったことで安心感を覚えました。実際の伴走支援では、やり過ぎず足りなさ過ぎず、必要な支援と団体の自立性の棲み分けが絶妙でした。課題に対して批評・批判ではなく、問題点を具体的にまとめてくれることで、今後の活動への意欲が持てました。中間支援の視点で、人材の紹介や行政、教育委員会、社会福祉協議会などにつなげてくれるなど、これらの支援は地域で活動するには欠かせない存在だと感じました。

主な活動内容

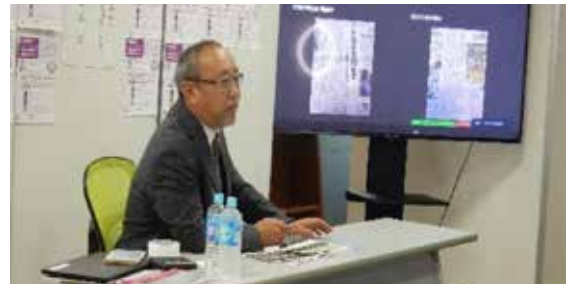
「出会いとつながりをデザイン」をモットーに、中間支援団体として、市民・市民活動団体と、行政・企業・学校などとの協働をコーディネートすることにより、まちの活性化につながる活動を支援します。また、地域の創造的な芸術文化活動を通して、アートのチカラで地域を元気にし、魅力あるまちづくりに貢献します。

NPO法人 きょうとNPOセンター

Voice 「特別定額給付金の地域公益活動の支援につなげる」フォーラム参加者

このフォーラムに参加して、それぞれ実践の場(パネリスト:中間支援団体・現場活動団体・金融機関)ならではの具体例が報告され、自団体の今後の社会課題解決への参考になりました。

現場活動団体から「市民活動は借り物競争」という言葉がありました。多くのNPOがともすれば勘違いしているかも知れませんが、選ばれるNPOとしての「競争」概念を避けるべきではないと実感しました。



主な活動内容

私たちは「市民が支える市民社会の実現」を目指し、NPO・市民活動団体の支援、地域団体、行政、企業と他団体との協働による課題解決等に取り組んでいます。こうした経験やネットワークを活かし、市民参画で行う自治基本条例の制定支援のほか、講師派遣・研修事業等を通じて、市民によるまちづくりサポートを行っています。

NPO法人 ひろしまNPOセンター



Voice NPO狩留家理事長 黒川章男様

NPO狩留家の設立準備の時ひろしまNPOセンターを訪ね設立手続きを教えていただき、高齢者夫婦で設立できた。その数か月後、狩留家の町おこしの為に「水車小屋を建設しよう」と思い立ったが資金がない。相談したところ、ある団体を紹介いただき、応募して数百万円の水車が出来た。それから7年、狩留家なす物流センターの構築の必要性が出てきた時、休眠預金等助成金の応募に挑戦し選定された。この大型助成金運用の伴走をして頂いています。私にとってひろしまNPOセンターは何時でも相談に乗っていただける守護神です。

主な活動内容

1997年設立。民設民営のNPO支援センターとしての専門能力を活かしながら率先して行動し、立場・分野・地域・世代の垣根をこえた参画と協働を促すことで社会連帯を育み、社会の問題解決や価値創造を図ることを通して、SDGsや国際平和に貢献し、持続可能でゆたかな市民社会を実現することを目的に活動しています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金



Voice 入学応援給付金受給者

寄附して下さった方へ。コロナウイルスが猛威を振るい世の中が大変な中「入学応援給付金」にご寄付戴き、有難うございます。高校入学においてとても助かりました。今、僕は受験した高校に合格し、自分の障がい(自閉症スペクトラム)と向き合いながら毎日一歩ずつ楽しく過ごしています。これからも楽しいこと、つらいことがあると思いますが、遠回りしながらでも自分のペースで挑戦したいです。度々になりますが「入学応援給付金」にご寄付いただき有難うございます。

主な活動内容

市民や企業の皆様から寄付金を集め、市民活動団体やボランティア団体に活動資金を助成しています。一昨年から「こどもの未来応援プロジェクト」で、高校入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給するプロジェクトを実施しています。

ご支援をお考えのみなさま

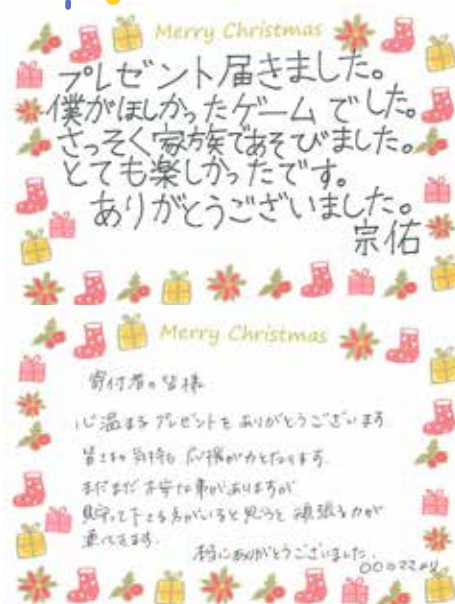
「いままで寄付をしたことがない」、「寄付をどこにすればよいのか分からなかった」など初めて寄付をする方にグッドガバナンス認証団体をおすすめしています。応援特集ページ

<https://jcne.or.jp/gg-donation/>

チェックポイント！

- ☒ 寄付金の使いみちを明らかにしています
- ☒ 寄付者の方へ活動結果を報告します
- ☒ 不正を防止する仕組みがあります
- ☒ 安定して運営されています

たくさんのご支援ありがとうございます



病気を抱える子どもと家族に元気を届けるポケサポ応援団

毎年、寄付件数は増え続けていて今年は約200～300個の箱を開封しました。全国から届く温かいご支援に感謝を申し上げます。全国の応援団とつながるきっかけになると同時に、小児がんや心臓病などの病気を抱える子どもたちの状況や社会課題を知って頂くきっかけになっています。そして、その思いはプレゼントを受け取った子どもたちやご家族にとっても元気や勇気となって届き、SNSを通じて嬉しいコメントを載せていただくことも増えました。岡山市を中心に活動をする小さなNPOですが、全国の皆様に支えられています。

「応援してよかった」と感じられる寄付体験向上のために

今後は寄付者の方とのコミュニケーションを維持するために、寄付金受領証明書の発行と合わせて子どもたちから届いたクリスマスカード（御礼メッセージ）を同封してお送りしたり、メールマガジンによる活動報告、来年のクリスマス前には今年もご支援をお願いするハガキ等を郵送して継続的なつながりを作っていきたいと考えています。



認定特定非営利活動法人
ポケットサポート
pocket support

認定NPO法人 ポケットサポート (P.26掲載)
Amazon「みんなで応援」プログラム参加団体



グッドガバナンス認証

グッドガバナンス認証団体一覧

認証審査委員会を経て誕生したグッドガバナンス認証団体を順次発表しています。最新のグッドガバナンス認証団体について、非営利組織評価センターのウェブサイトをご覧ください。 <https://jcne.or.jp/gg/>



Amazon「みんなで応援」プログラム ほしい物リストで笑顔をお届け



Amazon「みんなで応援」プログラム

グッドガバナンス認証団体が必要としている物品を、Amazon.co.jpを通じてサポートできるプログラムです。それぞれの団体が作成した「ほしい物リスト」から商品をご購入いただくことで、簡単に物資の支援が行えます。
<https://jcne.or.jp/2020/12/18/amazon/>

遺贈寄付特集

非営利組織評価センターは全国レガシーギフト協会と連携し、遺贈寄付を推進しています。遺贈寄付のプログラムを設けているグッドガバナンス認証団体をご紹介します。

https://jcne.or.jp/for_npo/legacy/

インタビュー連載

グッドガバナンス認証団体の運営のコツから最新の社会問題まで分かるインタビュー記事をCSR雑誌オルタナにて連載しています。連載記事一覧はこちら

<https://bit.ly/3rWyZBM>

企業のみなさま

グッドガバナンス認証制度と連携・協働を行う企業を募集しています。グッドガバナンス認証制度との連携をお考えの方は非営利組織評価センター事務局までお問い合わせください。

非営利組織のみなさま

グッドガバナンス認証の取得をご検討の方は、非営利組織評価センター事務局までご相談ください。

一般財団法人 非営利組織評価センター Japan Center for NPO Evaluation (JCNE)



お問い合わせ・ご相談先: office@jcne.or.jp

非営利組織評価センター(JCNE)は、非営利組織の組織評価を行う日本で初めての第三者審査機関です。高まる社会の要請とともに、非営利組織と支援を希望する人々が増加する一方で、非営利組織が日本社会の中で十分な信頼を得られていない現実があります。そこで私たち非営利組織評価センターは、非営利組織と支援者との架け橋として組織評価・認証の取組みを開始し、幅広い支援を継続的に獲得できる社会の仕組みに貢献することを目標に活動しています。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11-2 日本財団第二ビル3階
TEL:03-6457-9721 (平日9:30~17:30)
<https://jcne.or.jp>

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

企画・デザイン：北牧加代乃 イラスト：富田マリー

